

## 大山のナラ枯れを考えるワークショップの開催について

令和3年3月6日(土)、鳥取県及び鳥取県ナラ枯れ被害対策協議会が主催する「大山のナラ枯れを考えるワークショップ」が米子市淀江文化センターにて関係者36名が出席し開催されました。

当ワークショップは、ナラ枯れ対策を行う行政機関と、大山周辺で自然環境保全活動等を行う民間事業者等が、有識者を交えてナラ枯れの発生要因等に関する正しい知識を学び、今後のナラ枯れとの向き合い方や具体的な活動について自由な意見交換を行うとともに、相互連携について検討を行うことを目的に今年度初めて開催されました。

当署からは、「大山地域の国有林におけるナラ枯れ被害対策について」と題し、今年度(過去含む)実施した被害対策及び今後の被害対策の計画について、関係機関への情報提供を目的に発表を行いました。(発表内容についてはP2～12のとおり)

特に令和3年度の被害対策については、被害対策協議会の基本方針に基づき、県や専門家の意見を踏まえながら区域毎に対策を検討し、より効果的な被害対策となるよう計画し実行する予定です。



【被害対策の発表】

公立鳥取環境大学准教授 笠木先生から「ナラ枯れ問題の本質と、長期的な視点での向き合い方」題して講演が行われ、その後、参加団体からの活動報告、今後のナラ枯れ対策について意見交換を行いました。

意見交換会の冒頭、地元関係者から国、県は被害対策について非常に力を入れて対応して頂いているとの評価をいただきました。

一方で、大山に多いミズナラ林では被害が激甚となり、被害をくい止めることは非常に難しい。継続して、駆除を行う一方で立木ビニール被覆等による予防対策に力を入れるべきではないか。との防除対策への意見や、「里山林の管理放棄問題」、「被害地の更新問題(ブナ植林、ナラの萌芽)」等について意見がありました。



【意見交換会の様子】

また、過去にナラ枯れ被害を受けた県東部の被害跡地で、被害木の倒木問題や、シカ食害により下層植生が喪失し、森林の更新が進んでいない事例の紹介がありました。

大山地域でも、ナラ枯れ被害の終熄後、シカ食害等による新たな問題が発生する恐れがあることから、関係機関と連携を深めて対策を行っていく必要があります。

大山地域でのナラ枯れ被害はもはや環境問題となっており、今後も民国、関係団体が連携し、確実な被害対策、植林活動等を通じ、大山の貴重な森林を守り、育てていくこととしています。

# 大山地域の国有林における ナラ枯れ被害対策について

林野庁 近畿中国森林管理局  
鳥取森林管理署

# 鳥取森林管理署について

## ▶ 林野庁所管の下部組織

- ✓ 鳥取県内に所在する国有林野等約31,000haの管理  
(県の森林面積の約12%)

## 大山地域における国有林野

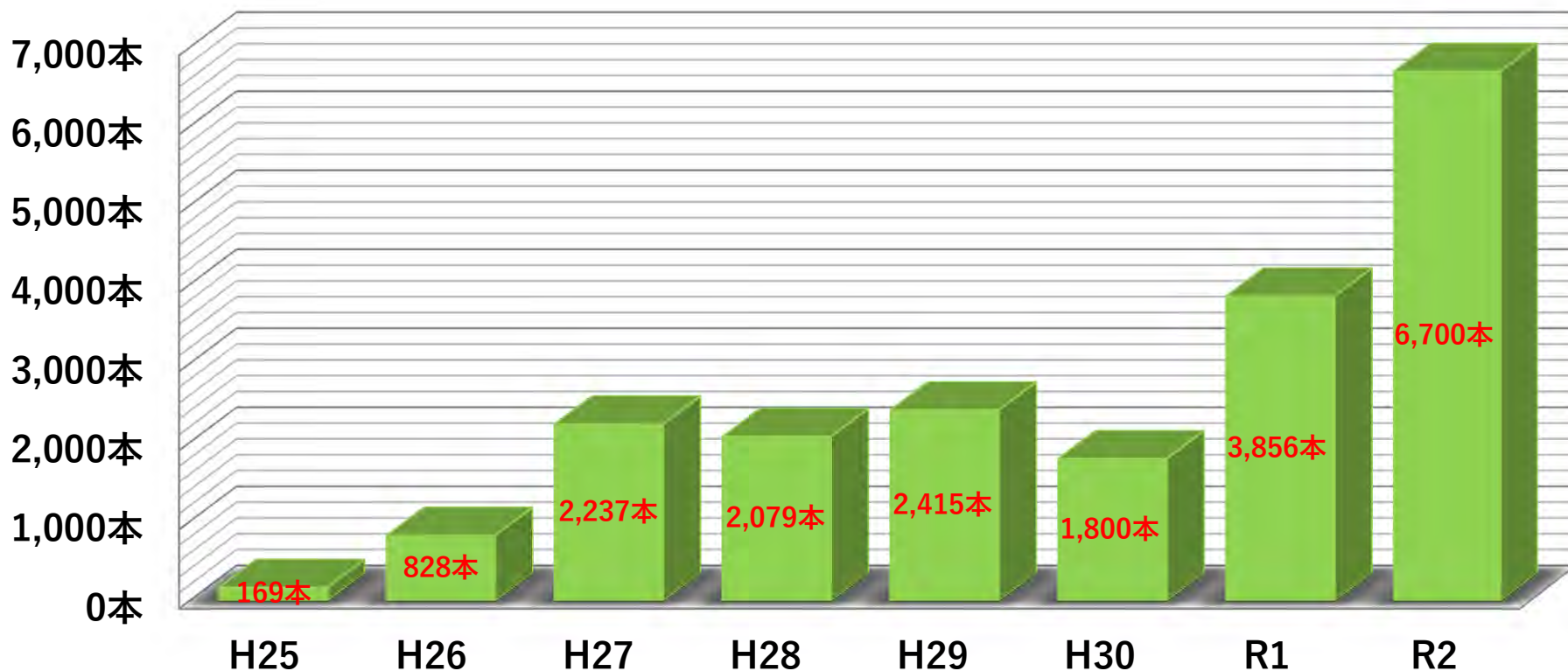
### ▶ 大山国有林外約5,500haを管理

(大山町、伯耆町、江府町、琴浦町、倉吉市)

- ✓ その内、約3,200haを大山森林生態系保護地域として指定

森林の持つ公益的機能の高度発揮に  
重点を置いた管理経営

# 大山地域のナラ枯れ被害木の推移（国有林）



- ✓ 平成25年度被害確認
- ✓ 平成29年度まで被害増加
- ✓ 平成30年度被害減少
- ✓ 令和元年度から再び被害急増

# 大山地域でのナラ枯れ被害対策について

## ➤ 対象範囲

- ✓ 「鳥取県ナラ枯れ被害対策協議会」の基本方針に基づき、大山山頂を中心とした約10kmの範囲内に位置づけられている重点対策区域

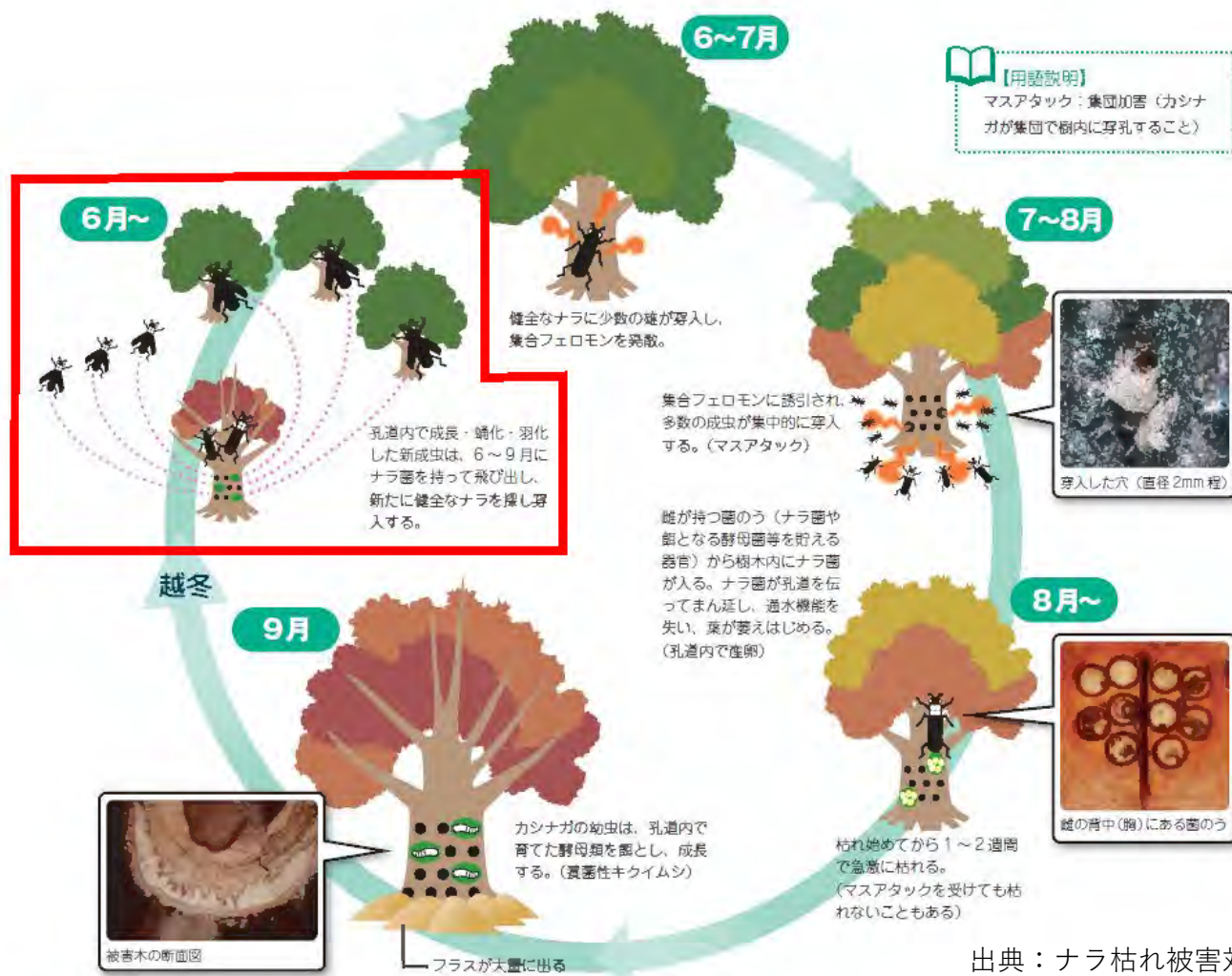
## ➤ 内容

- ✓ 平成25年度～ 被害木の駆除対策着手  
(伐倒くん蒸、伐倒・搬出、立木くん蒸等)
- ✓ 平成29年度～ 駆除対策に加えて防除対策を実施  
(カシナガトラップ、立木ビニール被覆)

# 令和2年度の駆除対策について(春)

## ➤ 春駆除

- ✓ 令和元年の被害木のうち1, 3 4 6本の駆除を実施
- 時期：カシノナガキクイムシ羽化・脱出前（5月末）



# 作業種

▶ 伐倒くん蒸 主要観光道路沿線及び登山道沿い

✓ (江府町上流は薬剤使用せず被覆のみ)



【伐倒作業】



【集積作業】



【くん蒸作業】

▶ 伐倒・搬出 主要観光道路沿線



【伐倒作業】



【搬出作業】



# 作業種

▶ 立木くん蒸

主要観光道路沿線以外の林内の被害木



【穿孔作業】



【薬剤注入】



# 令和2年度の駆除対策について(秋)

## ➤ 秋駆除

- ✓ ナラ枯れ被害区域拡大
- ✓ 主要観光道路沿線でも被害多数発生

## ◎ 早期伐倒事業を実施

- ✓ 令和2年の被害木のうち、大山環状道路等沿線に位置する被害木163本の伐倒・搬出を実施

目的：被害木の早期駆除、通行車両や森林散策者の安全確保及び紅葉シーズン前の景観対策

実施時期：9月下旬～10月中旬

# 令和2年度の予防対策について



【カシナガトランプ】

被害拡大の前線



【立木ビニール被覆】

主要観光道路沿線

# 令和3年度 大山地域ナラ枯れ被害対策実施区域図

## 【全域】

- ◆ 駆除対策
  - ・ 原則 立木くん蒸

## 【登山道・歩道沿い】

- ◆ 駆除対策
  - ・ 危険木排除のため伐倒くん蒸

## 【カシナガトラップ】

- ・ 800m以下の低標高域のコナラに設置し高標高域から誘導
- ・ 設置木の周囲は立木ビニール被覆を設置し被害を防止

## 【県道沿い】

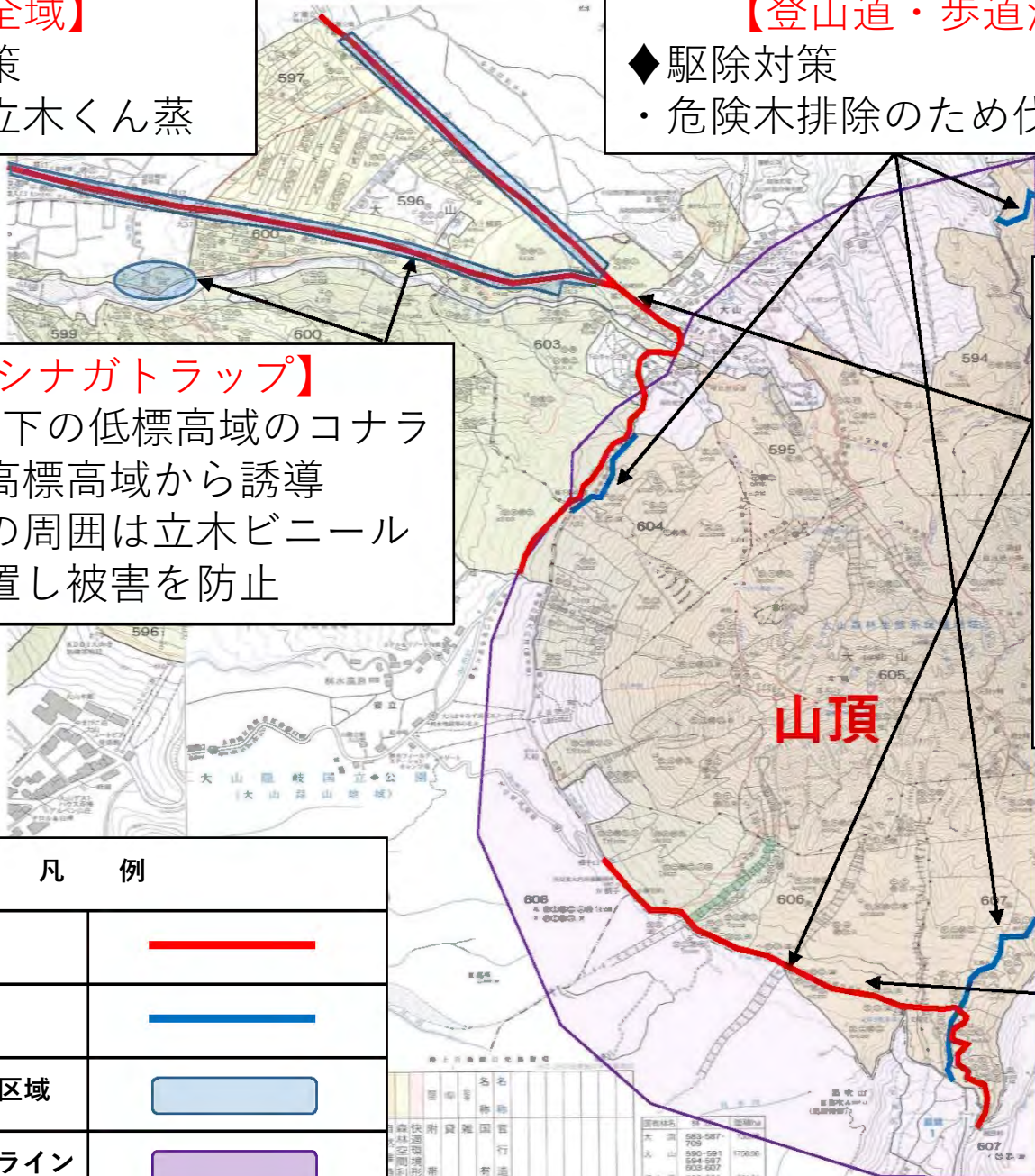
- ◆ 駆除対策
  - ・ 危険木排除のため伐倒・搬出及び伐倒くん蒸を実施
- ◆ 予防対策
  - ・ 立木ビニール被覆を設置し予防

山頂

## 凡 例

県道	
登山道	
カシトラ設置区域	
標高800m付近ライン	

- ◆ 駆除対策
  - ・ 江府町上流は薬剤使用不可なため、伐倒・搬出、伐倒被覆を実施



# ナラ枯れ被害対策事業の発注について

## ➤ 国の発注方式

✓ 原則一般競争入札

→近年、県外の事業者（岡山）のみの参加

→岡山県 ナラ枯れ被害深刻化

→入札参加への危惧

## 駆除事業を実行できなくなる可能性

今後の事業発注に際し、ご協力をいただけたら幸いです  
ご検討の程何卒よろしくお願いいたします

引き続き大山の森林環境保全を図る必要があります、大山地域で民・国足並みを揃えたナラ枯れ被害対策を実施して参る所存ですので、今後ともご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします